　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成30年11月30日（通巻第163号）

***ボウルズ・ジャパン　ブリテン***

　　　　　　　　　　　発行元：認定NPO法人ローンボウルズ日本　総務部

**一般情報など**

　11月の新入会者を紹介します。

　　倉田　守（くらた　まもる）　さん　NPO法人ローンボウルズクラブＡＬＢＣへ入会

　　中村珠美（なかむら　たまみ）さん　NPO法人ローンボウルズクラブＡＬＢＣへ入会

　　長田隆秀（おさだ　たかひで）さん　学園ワイズメンズクラブへ入会

**2018年11月の行事、活動などの結果**

（１）SVリーグ2018年度後期大会(第3,4節)

主催：ＢＪ 関西支部　主管：SVリーグ実行委員会

リーダー： 学園都市、会計：村人クラブ、記録：神戸タッチャーズ

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：11月3日（祝土）、25日（土）12:30～16:00

結果：11月25日　第4節終了時の成績は以下の通りです。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 順位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 | 9位 | 10位 | 11位 | 12位 |
| チーム名 | ﾀｯﾁｬ-ｽﾞＡ | LB中崎 | 学 園  －Ａ | ﾀｯﾁｬ-ｽﾞＣ | 村人ｸﾗﾌﾞB | 学園－Ｂ | ﾀｯﾁｬ-ｽﾞＢ | 兵庫車椅子 | 村人ｸﾗﾌﾞＡ | ALBC－Ａ | ALBC－Ｂ | ALBC  －Ｃ |
| 勝点 | 18 | 15 | 15 | 14 | 13 | 12 | 12 | 10 | 9 | 9 | 7 | 6 |
| 点差 | 47 | 10 | －11 | 10 | 14 | 17 | －10 | －10 | －11 | －18 | －5 | －33 |

（２）Ｍリーグ2018年度下期大会(第3節)

主催：ＢＪ関西支部　主管：Mリーグ実行委員会

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時： 11月17日（土）　12:45～16:00

競技内容：チーム編成は当日の抽選にて決定。参加人数によりペアーズ、トリプルズ戦を行う。ポイントの計算方法は、｛勝ちエンド数×１ポイント+ゲーム勝利のとき2ポイント（引き分けなら1ポイント）｝

　　　　　表彰：70%以上の出席者で期間中の1試合当たり平均ポイントによる

結果：2018年度下期第3節11月17日終了時点での成績結果は以下の通り

（表彰対象は、出場回数70%以上の人が対象となります）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏　名 | 平均ポイント | ポイント合計 | 出場試合数 |
| 1位 | 野田和夫（神戸ﾀｯﾁｬ－ｽﾞ）  坂本紘一 | 6.33 | 38 | 6 |
| 2位 | 川阪泰夫（ＢＳＣ）  安部　宏（ﾛｰﾝﾎﾞｳﾙｽﾞ神戸）  38 | 6.17 | 37 | 6 |
| 3位 | 宮北　茂（神戸ボウルズ）  水野恵二郎（ひよどり台） | 5.83 | 35 | 6 |

(３）中崎リーグの11月の結果

　　　　　主催：ローンボウルズ中崎

　　　　　日時： 11月5日(月)、19日（月） 　12:30～17:00

場所：明石市中崎遊園地内ローンボウルズグリーン（天然芝、4リンク）

結果：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 第3回（11月5日） | 第4回（11月19日） | 11月総合 |
| 1位 | 平松　康雄（LB中崎） | 前林　典子（LB中崎） | 前林　典子（LB中崎） |
| 2位 | 前林　典子（LB中崎） | 宮内　廣二（LB中崎） | 宮内　廣二（LB中崎） |
| 3位 | 宮内　廣二（LB中崎） | 前林　好信（LB中崎） | 平松　康雄（LB中崎） |

(４）Aリーグカップ2018年後期大会(第9、10節)

主催：ＢＪ関西支部　主管：Ａリーグ実行委員会

場所：明石公園ローンボウルズグリーン

日時：11月4日（日）、18日（日）　12:45～16:00

結果：11月18日終了時（8回開催）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | A-1リーグ | A-2リーグ |
| １位 | 垣内紀子（ＡＬＢＣ）　　109点 | 大杉正樹（神戸ボウルズ） 　　 85点 |
| 2位 | 藤崎政和（ＡＬＢＣ）　　91.5点 | 角田　信（神戸タッチャーズ）　68点 |
| 3位 | 檜垣英男（ＡＬＢＣ）　 　84点 | 山崎清子（ＡＬＢＣ） 　　　 61点 |

（５）男女ペアーズ日本選手権大会

主催：認定NPO法人ローンボウルズ日本技術競技部

　　　　　主管：ＢＪ関西支部

　場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

　日時：11月10（土）、11日（日）

競技要項：1人3球　12エンド（85分時間制限併用）

★女子の部：出場５チーム総当たり（４試合）を行い合計獲得ポイントで順位を決める。

成績結果

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　△＝得失点率

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ﾁｰﾑ記号 | 選手名（クラブ名） | 勝敗数 | 獲得ポイント | 順　位 |
| Ｗ１ | 浜田早織（YC&AC）  安田加津子（YLBC） | １分け3敗 | １ | 5位 |
| Ｗ２ | 八杉　瞳（LB中崎）  前林典子 | 2勝2敗 | ６  △＝1.278 | ３位 |
| Ｗ３ | 福井加代子（ALBC）　小野　叶子 | 2勝2敗 | ６  △＝1.100 | ４位 |
| Ｗ４ | 郭善芳（兵庫車椅子植松寿子 | 3勝1敗 | ９ | **１位** |
| Ｗ５ | 島　美里（LC京都）  小山裕木恵 | 2勝1敗1分 | ７ | ２位 |

　　　★男子の部

　競技内容：出場12チーム（関東：3、関西：９）

・予選ラウンド：６チームづづ2グループに分かれ、総当たり5試合を実施。

　予選ラウンドの成績集計はポイント制を採用。5試合の合計獲得ポイントで順位

付けを行い、同ポイントの場合は、別に定める基準によって順位付けを行う。

・決勝ラウンド：各予選グループ1位、2位　4チームで準決勝、決勝、3位決定戦を行う。

　　　　　競技要項：一人3球　12エンド（85分時間制限制併用）

　　　　　予選ラウンド結果

　　　　　　Ａグループ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　△=得失点率

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 選手名（クラブ名） |  | 獲得ポイント | 順位 |
| Ａ１ | 首藤　暁彦  松原　敬之（東京ＬＢＣ） | 2勝3敗 | Ｐ＝６  △=0.672 | ６位 |
| Ａ２ | 野上　哲男  横井　幸雄（神戸ﾀｯﾁｬｰｽﾞ） | 2勝3敗 | Ｐ=６  △＝1.019 | 3位 |
| Ａ３ | Ａ．Hendy  Ｍ．Niederhauser（Yc&Ac） | 3勝2敗 | Ｐ=９ | ２位 |
| Ａ４ | 関　政美  旭　吉功（ＡＬＢＣ） | 2勝3敗 | Ｐ=６  △＝0.869 | ５位 |
| Ａ５ | 南川　義和  山形　史朗（学園都市ﾜｲｽﾞ） | 2勝3敗 | Ｐ=６  △＝0.932 | ４位 |
| Ａ６ | 田町智之（甲南ﾛｰﾝﾎﾞｱｰｽﾞ）  小山　潤（ＬＣ京都） | 4勝1敗 | Ｐ=12 | １位 |

Ｂグループ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　△=得失点率

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 選手名（クラブ名） |  | 獲得ポイント | 順位 |
| Ｂ１ | 藤川辰美  奥田　昭 (ALBC) | 4勝1敗 | Ｐ＝12  △＝1.217 | ２位 |
| Ｂ２ | 安達順一（ＹＣ&ＡＣ）  依田成史（YLBC） | 4勝1敗 | Ｐ=12  △＝1.236 | １位 |
| Ｂ３ | 山根英輝  坂本紘一（神戸ﾀｯﾁｬｰｽﾞ） | 3勝2敗 | Ｐ=９ | ３位 |
| Ｂ４ | 宮内廣二  平松康雄（ＬＢ中崎） | 2勝3敗 | Ｐ=６  △＝0.746 | ５位 |
| Ｂ５ | 中川正俊  西口　明（神戸ﾀｯﾁｬｰｽﾞ） | 2勝3敗 | Ｐ=６  △＝1.00 | ４位 |
| Ｂ６ | 松田　晃輔  廣内　徹也（ＬＣ京都） | ０勝６敗 | Ｐ=0 | 6位 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 準決勝 | 3位決定戦 | 優勝決定戦 |
| (Ａの1位)：(Ｂの2位)  田町智之・小山　潤  ８対**12**  **〇 藤川辰美・奥田　昭** | **〇田町智之・小山　潤**  **12**対９  安達順一・依田成史 | **〇 A.Hendy・Ｍ．Niederhauser　12**対 ９  藤川辰美・奥田　昭 |
| (Ｂの1位)：(Ａの2位)  安達順一・依田成史  　　 　５対**９**  **〇　Ａ．Hendy・**  **Ｍ．Niederhauser** |

最終順位　１位　A.Hendy／Ｍ．Niederhauser　（ＹＣ＆ＡＣ）

　　　　　２位　藤川辰美／奥田　昭（ＡＬＢＣ）

　　　　　３位　田町智之／小山　潤（甲南/LC京都　混成）

４位　安達順一／依田成史（YC&AC/YLBC　混成）

（６）2018年度兵庫県民ふれあい大会（第20回）

主催：兵庫県生涯スポーツ連合

主管：認定NPO法人ローンボウルズ日本兵庫支部

後援：兵庫県教育委員会、兵庫県体育協会　等

場所：しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：11月23日（金、祝）9:30～16:30　小雨決行・順延なし

競技方法：男女を問わないトリプルズ戦。一人3球×10エンド戦（80分の時間制限あり）。

チーム編成は当日　抽選により決定。

　1チームが3ゲームを実施し、3ゲーム合計の勝ち点および総得点/総失点

　の高い順で順位決定した。14チームが参加した。

　　　　　結果：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Δ=総得失点差

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 順位 | 選手名 | 成績 |
| 1位 | 箕浦　厚・小野宦司・加久石幸三 | 3勝０敗 |
| 2位 | 緒方貴玄・山根英輝・林　嘉雄 | 2勝1分け、Δ=+14 |
| 3位 | 八杉　瞳・松本惣一・藤川辰美 | 2勝1分け、Δ=+7 |
| ベスト・タッチャー賞 | 小野宦司 | タッチャー13回実施 |

（７）　明石市長杯秋季大会

主催：ＢＪ関西支部　Ａリーグ実行委員会

場所：明石公園ローンボウルズグリーン

日時：11月24日（土）、9:00〜17:00

競技内容： 男女不問トリプルズ戦　　14チームが参加

　　　　　勝ち抜き方式で対戦相手が決まるという方法で4ゲームを実施し、

4ゲーム合計の勝ち点、得失点差、得点合計により順位を決定する。

1ゲームは一人3球の8エンド戦（7５分の時間制限付き）。

結果： 　　Ｐ=勝ち点　　 Δ＝得失点差

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 順位 | 選手（所属クラブ） | 成績 | 勝ち点 |
| １位 | 野上哲男、横井幸雄、福井加代子  （神戸ﾀｯﾁｬｰｽﾞ／ALBC混成） | 3勝1分け | Ｐ＝10、△＝20 |
| ２位 | 大杉正樹、宮北　茂、山田　誠（神戸ボウルズ） | 3勝1分け | Ｐ＝10、△＝12 |
| ３位 | 旭　吉功、藤崎政和、藤川辰美（ＡＬＢＣ） | 3勝1敗 | Ｐ＝９、△＝14 |

（８）世界Champion of Champions大会

主催：World Bowls

主管：オーストラリア・ローンボウルズ連盟

場所：オーストラリア・ＮＳＷ州　セントジョンズパーク・クラブ

日時：10月29日（月）～11月4日（日）

出場選手：佐藤寿治（ｵｰｽﾄﾗﾘｱｸﾗﾌﾞ）

　　　　　（東京LBCの篠田麻衣子選手は仕事の都合で出場辞退）

内容：各国のシングルス・チャンピオンが集合し、予選ラウンドおよび決勝トーナメントを戦い、世界チャンピオンを決める大会である。

　　　競技はセット方式であり、１セットが９エンドのセットを２セット戦う。獲得セット

数がタイの場合には３エンドのタイ・ブレークを戦って勝敗を決する。

結果：満を持して大会に臨んだ佐藤選手であったが、 やや不調で予選ラウンドの11位に

沈んだ。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 予選ラウンド各ゲームの結果 | | | 予選ラウンドの最終順位 |
| 対戦相手 | 勝敗 | スコア | 1位 ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ 12勝0敗  2位 香港 10勝2敗  3位 マン島 8勝4敗  4位 ナンビア 7勝5敗 (得失点差+61)  5位 トルコ 7勝5敗(得失点差+41)  6位 ｶﾞｰﾝｼﾞｰ 7勝5敗(得失点差+22)  7位 ｱｲﾙﾗﾝﾄﾞ 7勝5敗  8位 タイ 6勝6敗(得失点差-40)  9位 ｲｽﾗｴﾙ　　 6勝6敗(得失点差-45)  10位 カナダ 5勝7敗  11位 **日本** **2勝10敗**  12位 ﾌｨｰｼﾞｰ 1勝11敗  13位 ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ 0勝12敗 |
| ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ | 〇 | 7:7,8:3 |
| マン島 | × | 7:12,5:11 |
| ｱｲﾙﾗﾝﾄﾞ | × | 7:6,1:14, 2:3 |
| 香港 | × | 7:8,7:10 |
| ｶﾞｰﾝｼﾞｰ | × | 3:12,9:9 |
| ﾌｨｰｼﾞｰ | 〇 | 11:3,8:7 |
| ｲｽﾗｴﾙ | × | 4:7,5:12 |
| タイ | × | 6:12,4:9 |
| ナンビア | × | 5:8,8:6, 1:3 |
| ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ | × | 6:9,6:7 |
| カナダ | × | 5:9,6:9 |
| トルコ | × | 3:12,2:18 |

（９） パンパシフィック・マスターズゲームズ・ローンボウルズ大会

主催：オーストラリア・クイーンズランド州政府

内容：2年に1回開催。2018年度は42種目のスポーツ（その中にローンボウルズも

　　　含まれる）が開催された。今回はワールドマスターズゲームズ2021関西のローンボウ

　　　ルズのＰＲを兼ねて、有志の者で参加した。

ローンボウルズの開催場所：オーストラリア・ゴールドコーストのSouthport Bowls Club

(1914 年創立で100年以上の歴史を持つ古いクラブ。天然芝の3グリーンを有する。)

日時：10月31日（水～11月12日（月）

結果：日本のグリーンとは異なる18秒～20秒の非常に軽いグリーンとボウルも流されるような強い風の条件があって苦戦し、１つもメダルを取ることはできなかった。ただし

　　　　　　　ＷＭＧ2021関西のＰＲはずいぶん反響がよかった。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 競技種目 | 競技方式 | 出場選手 | 成績 |
| 男子ペアーズ | 一人４球 (但し2-2-2-2方式)  ×15エンド | 合田純二・森　紘一 | 2勝3敗 |
| 女子ペアーズ | 合田洋子・松岡　緑 | 2勝1分け2敗 |
| 西條和子・森　弘子 | 2勝3敗 |
| 混合ペアーズ | 合田洋子・合田純二 | 2勝3敗 |
| 森　弘子・森　紘一 | 1勝4敗 |
| 松岡　緑・ﾏｲｹﾙ ｼﾞｪｰﾑｽ | 3勝1分け1敗 |
| 混合トリプルズ | 一人2球 ×18エンド | 西條・森（弘）・森（紘） | 0勝5敗 |
| 合田（洋）・合田（純）・松岡 | 1勝3分け1敗 |
| 混合フォアーズ | 一人2球 ×15エンド | 西條･ﾏｲｹﾙ･合田〈純〉・松岡 | 1勝4敗 |

（10）第18回のじぎく杯室内ローンボウルズ大会

　　主催：兵庫車椅子クラブ

　　日時、場所：11月17日（土）9:30〜17:00　兵庫県立障がい者スポーツ交流館

　　内容：上記スポーツ交流館にて定期的に開催している大会であり、障がい者とその家

族および一般の愛好家も含めたローンボウルズ大会を開催した。

体育館上に敷いたカーペットによる3リンクを用いて、一人３球のトリプルズ

戦×８エンド（50分時間制限併用制）を実施。

参加者27名を9チーム、3グループに分け、グループ内で2試合を実施、その順位をもとにもう2試合実施。チーム及びグループ分けは当日抽選で決定。

4試合のポイント合計で順位を決定する。勝ち：３Ｐ　　分け：１Ｐ　　負け：０Ｐ

同ポイントの場合の順位決定条件は　①得失点差　➁総得点　③トス

結果は次表のとおり。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 選　手　名 | 勝　敗 | ポイント | 得失点差 | 順位 |
| 児島久雄　片井弘行　今枝睦弘 | 1勝3敗 | ３ | －１３ | ８位 |
| 川村信子　福井加代子　伊藤美津江 | 2勝2敗 | ６ | －１ | ４位 |
| 植松博至　郭　善芳　伊藤彰哉 | 3勝1敗 | ９ | ＋１９ | ２位 |
| 旭　吉功　関　政美　松本節子 | 2勝2敗 | ６ | －８ | ６位 |
| 前林典子　竹村裕之　木村和暉 | 0勝4敗 | ０ | －２１ | ９位 |
| 植松寿子　仲　一美　矢羽野隆義 | 3勝1敗 | ９ | ＋１６ | ３位 |
| 垣内紀子　南川義和　鐘本隆明 | 1勝3敗 | ３ | －５ | ７位 |
| 澤田昭雄　西田繁雄　片井加代子 | ４勝0敗 | １２ | ＋１７ | １位 |
| 藤川辰美　スーザン　前林好信 | 2勝2敗 | ６ | －４ | ５位 |

（１１）韓国から障がい者スポーツ交流団が兵庫県庁を訪問

　　　　　　11月27日（火）に韓国の慶尚南道障害人体育会（釜山の近く）から卓球およびローンボウル

ズのスポーツ使節が兵庫県庁（県障がい者スポーツ協会）を訪問し、スポーツ交流大会を持った。

　兵庫県職員会館の３階体育館で、ローンボウルズは玉津のリハビリテーション・センターから

　インドア・カーペット１リンクを運搬し、兵庫車椅子クラブ（児島、澤田、西田）と交流試合

を持った。一人３球×８エンドのトリプルズ戦を行い、日本が９：３で勝った。

**2018年12月以降の計画、予定**

（１）SVリーグ2018年度後期大会(第5、6節)

主催：ＢＪ関西支部　　主管：SVリーグ実行委員会

リーダー： 学園都市　　会計： 村人クラブ　　記録：神戸タッチャーズ

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：12月5日（水）、22日（土）12:30～16:00

　競技内容：ペアーズ戦を２ゲーム行う。

（２）Ｍリーグ2018年下期大会(第4、5、6節)

主催：ＢＪ関西支部　主管：Mリーグ実行委員会

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：12月1日（土）、9日（日）、23日（日）　12:30～16:00

競技内容：チーム編成は当日の抽選にて決定。参加人数によりペアーズ、トリプルズ、

フォアーズ戦を行う。8エンド戦を2ゲーム行う。

ポイントの計算方法は、｛勝ちエンド数×１ポイント+ゲーム勝利のとき2ポイント　　　（引き分けなら1ポイント）｝

参加申込み：事前申込みは不要。当日、会場への来場で可。

参加費：一人200円。 チーム編成は当日の抽選にて決定

（３）中崎リーグの12月の開催

　　　　　主催：ローンボウルズ中崎

場所：明石市中崎遊園地内ローンボウルズグリーン（天然芝、4リンク）

　　　　　日時： 12月3日(月)、17日（月） いずれも　12:30～17:00

募集人員：max.24名（当日自由参加）。組み合わせは、当日抽選による

（４）Aリーグカップ2018年後期大会(第11、12節)

主催：ＢＪ関西支部　主管：Ａリーグ実行委員会

場所：明石公園ローンボウルズグリーン

日時：12月2日（日）、16日（日）9:00～13:00

参加申込み：事前申込みは不要。当日、会場への来場で可。

参加費：一人200円。チーム編成は当日の抽選

（５）インドアカーペット・ローンボウルズ練習会　開催

主催：ＢＪ障がい者ローンボウルズ部

場所：兵庫県立障害者スポーツ交流館２Ｆ

日時：12月11日（火）、18日（火）15:00～18:00　（今後も毎月２回開催します。）

参加費：無料。申し込みも不要。当日にローンボウルズの出来る服装で来ていただくだけで結構です。マイボウルをお持ちの方は持ってきてください。無い方は共用ボウルをお貸しします。

備考：障がい者と健常者が一緒に行う練習会ですので、健常者の方もどんどん参加してください。距離は、屋外リンクよりはやや短いですが、繊細なコントロール技術を体得するのには絶好の練習方法となります。

（６）Ｈ30年度定期ＢＪ理事会開催

開催日時：　平成30年12月16日（日）　13時から17時まで

場所：　　　名古屋市中京大学　1号館３階131教室

　　　　　　　　　（いつもの０号館（本館）ではないので、ご注意ください）

議事予定：

　　　 1号議案：2018年度日本選手権大会実施結果の報告

　　　　　　　　　　　　　　　＊男女シングルス日本選手権大会の日程を1週間あとずらし

　　　　　　　　　　　　　　　　した結果についての検証もこの議題のときに併せて行います。

　　　 2号議案：2018年度会計中間報告

　　　 3号議案：2019年度主要行事計画の審議

　　　　　　　　 4号議案：BJ理事推薦基準（内規）の一部修正についての審議

　　　　　　　　　　　　　　　現状は、1クラブ1名としているが、20名以上の

　　　　　　　　　　　　　　　会員を有するクラブは2名まで推薦できるという

　　　　　　　　　　　　　　　案について審議する。

　　　 5号議案：その他(各支部、各専門部からの報告事項など）

**会員からの投稿**

国際大会に参加した選手やサポートスタッフの報告書を掲載いたします。

**U-25アジア大会2018の出場を終えて**

**甲南ローンボアーズ　　　　田町　智之**

　2018年10月10日～10月17日の期間にて、U25アジア大会に出場しました。20歳の時に出場したWorld Junior大会から、約4年ぶりの国際大会出場となります。本大会に出場できることが決まり、4年間の練習の成果を知ることができる絶好の機会だと思い、自分らしくのびのびとプレーしようという気持ちで挑みました。

　大会の成績としては、中国に1勝、香港・タイ・マレーシアに3敗、インドに引き分けという結果に終わりました。

各国の選手と試合をする中で感じたことは、やはり、どの選手もウェイトコントロールの技術が素晴らしかったことです。1投目をジャックから離れた位置にドローしたとしても、2投目には60cm以内の位置にドローしてきます。

彼らを見ていて、独自のウェイトコントロールの技術を持ち合わせていることを感じました。このよう

　合計5試合を戦いましたが、その中で自分にとって最も悔いの残る試合がありました。

第4試合目、対戦相手は香港。1セット目を先取された後の2セット目、スコアが8-7とリードした状態で迎えた最終エンド。

相手と自分の2投目までが終わり、ショットボウルとセカンドボウル共に相手側、自分のボウルはといえば、2球ともジャックより約4m後方にあります。ちなみに相手のショットボウルはジャックの斜め前30cm、セカンドボウルはジャックから約2m左真横の位置にあります。

このような状況の中で自分の3投目を迎え、ドライヴもしくはドローという2つの選択肢のうち、どちらを選ぶかということで、とても悩みました

悩んだ結果、3投目と4投目のどちらもドライヴを選択し、相手に2点を取られて逆転負けを喫しました。

ジャックと相手ボウルの配置を見たうえで、点が取れる可能性の低い選択肢を選び、一か八かに賭けてしまったことが悔やまれます。自分のドローの技術にもっと自信を持てていれば、今回のような大事な局面を落とさずに済んだのではないかと思います。

　U25アジア大会に出場する機会を頂き、各国の選手と比べて自分がどういう状況なのかを知ることができました。自分の現状を知れたことで、”もっと上達したい ”という気持ちが日を重ねるごとに強くなっていくことを感じています。

これから先、日本というチームの一翼を担えるようなボウラーになれるよう、地道に努力していきたいと思います。

　最後になりますが、大会出場にあたり、沢山の方々にお世話になりました。

大会期間中、親身になってサポートしてくださった森ご夫妻、TKY基金によりご支援頂いた国頭さん、そして、期間中いつもお気遣い頂いた日本のチームメイトの皆様に心より感謝申し上げます。

貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。

以上

**インドネシア2018アジアパラ競技大会に参加して**

**コーチ　植松寿子**

我々ローンボウルズ参加5名は10月3日伊丹空港出発から始まった。ジャカルタに付いては無知な我々は旅行パンフレット、友達、知人等々の意見、大会本部の資料を見たり読んだりして少々の知識を得た。空気が悪い（マスク）蚊が多い（殺虫剤）生水が危険（水、生ものは食さない）暑い（日よけ）等々、気を付ける事を5名で話し合い用意していく事にした。

選手村、ローンボウルズ会場にもミネラルウォーターが用意されており、食事も思っていた以上に食べられるものがあった。試合会場で食べる一日目の弁当が暑い中での弁当なのでちょっと味が変だなと思うことがあった。急に本部からメールが流れて来て皆に通達して事なきを得た。それからは弁当もパン食に変わった。蚊も思ったより少なく色々とお薬もそろえていったが何も使用する事なく終了して本当に良かったです。宿泊施設もきれいで休養は出来たと思います。コーチとして夜食も作ってあげたかったが、部屋が5階と15階に離れていた為行き来が思う様にならずに行き届かなかった事を申し訳なく残念に思っています。

暑い時間帯に2時間競い続ける事は本当に大変でした。氷は無いし冷たい水も無いのです。汗はタオルで拭いても拭いても、目、メガネに入る、目標とする的が見にくくなり本人はイライラに…何もしてあげられない自分に腹が立つ。選手はなおさらだったでしょう。本当に選手の皆さんは頑張ったと思います。

試合のない時間にはローンボウル場の若いボランティアの人達に（男女）には我々日本のチームはとっても人気が良くてたくさんの人が集まってきて輪が出来、片言の通話とデスチャーで笑い声が絶えませんでした。アルバイトをしてお金をためて、東京オリンピックに行きたいという人や、日本に留学したいと言う若者もいました。オリンピックにはローンボウルズは種目には入っていないと伝えると何故だと問い詰められ説明するのがつらかった。

今大会ではローンボウルズ場はホッケーフイルド場を使っていた。芝生ではなく絨毯を敷き詰めたような会場で弾力があってボールを転がすには重たすぎて転ばない、力の入る競い合いだった。ナイター設備も充実していたので日が沈み涼しくなってからも試合出来てスムーズにゲームが進められた事は良かった。今大会で一番残念に思うことは5人で開会式に出られなかった事です。スケジュールに日々変更があり最終練習時間が開会式の集合時間に間に合わない事で出場が出来なくなったのです。これは監督とヘッドコーチの判断で中止と決まりました。開会式の様子は何一つ入って来ず寂しかった。

10/9,10/10の二日間シングル戦はあっと言う間に終わってしまったが、1日2～3試合、4時間～6時間の戦いを34℃の暑い中、本当に良く怪我もなく戦ったと思います。選手3人それぞれいろんな思いがあり、そして考えている事でしょう。“オジサンパワー万歳”至らないコーチでしたが本当に感謝しています。

　今後の課題として思った事は、ローンボウルズの知名度をもっともっと上げなければと感じました。アジアパラのユニホームを着て種目を聞かれ応えると、それは「どんなん」とほとんどの人に聞かれる悲しい限りでした。今大会の前後にいろんな新聞記者の取材を受けた。これはとても良かったと思う。今大会の最年長者（77歳）の出場。高齢者のおじさんパワーを売り物に出場した事をアピールして、ローンボウルズをすることで、若い人から高齢者、男女を問わず楽しみながら健康で笑顔を絶やさず長生きしましょうと皆さんに呼び掛けたいと思います。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上

**コーチ　　野上哲男**

日本代表として選ばれた児島選手、植松選手、山外選手は海外試合試合の経験もありローンボウルズ競技の技術も一流な方々です。

アジアパラ大会に出場が決まってから皆さんと一緒に合宿などの練習をかさねてきました。

大会試合一日目は各選手勝利したのですが、二日目の成績が良くなかったのは、残念でした。

暑さと試合時間の長さで集中力が続かなかったようです。各国代表選手の技術レベルが高いのを感覚じるばかりです。

今後、アジアパラ大会でローンボウルズ競技でメダルを獲得するには、日本国内でもっとピラミッドの底辺を拡大するためのローンボウルズ競技の普及と競技人口を増やすこと、そしてそのためにはインフラとしてのローンボウルズ場の増設を強く関係団体等に望むのみです。

**監督兼選手　　児島久雄**

選手達は良く頑張ったと思います。連日35度以上(体感)での炎天下、1試合2時間、ペースオブグリーンが8～9秒と非常に重く(世界基準は12～14秒)大変苦労していました。

グリーンの速さの把握は指導陣の責任で、今までの大会でしたらグリーンの広さ、ペースオブグリーンの情報が入って来ていたので事前調査にも参加せずにいました。今回はIBD（国際障がい者ローンボウルズ連盟）が主管ですので10秒以下は無いと思い込んでいました。選手には大変な思いをさせてしまいました。暑さも今年の日本の暑さを乗り越えたので安心をしていたのですが日本では連日の暑さでスポーツは控えるようにと報道等も有り、1時間練習をしたら休憩を取るようにと指導していたのに、今回の大会では日程が詰まっていることもあってか、5分以上の休憩はペナルテーが科せられるとの話もあって休憩なしで行っていました。

今後、炎天下での2時間以上の試合での暑さ対策、体力、集中力を保つ方法を選手・役員で取り組みたいと思います。

山外選手は日本選手団で一番の高齢者(77才)ですが、他国の若い選手(20～40代)にも引けを取らない戦いでした。植松選手も暑さをもろともせずに頑張っていました。

ローンボウルズはパラリンピックの正式種目でない為、アジアパラ競技大会が最高峰の大会であることには変わりはなく、今後も有りうるので事前の調査、下見は大切だと感じました。

**選手　　山外芳敬**

ローンボウルズ出場に際しましては関係者の方々からのご指導及び激励を賜りまして感謝申し上げます。また日本の多くの方々から熱い応援を頂きまして厚く御礼申し上げます。

　喜寿を迎えたこの年齢で、日の丸を胸にJAPANを背に大会出場は光栄の至りであり、日頃の練習成果を目指しましたが、クラスB8出場で4位と目標のメダルに届かず残念な結果でした。

応援して下さいました皆様のご期待に応えることが出来ず申し訳なく思います。

でもこれに懲りずにローンボウルズを可能な限り継続していきたいと思います。

大会に臨むにあたり普段の練習に強化合宿を加え、戦う上での心身の強化を図るべく7月にはシンガポールの「第2回　International Merlion Cup LawmBowls Championship」に出場し、アジアの各国の選手と対戦しました。また8月には韓国に出掛けて強化合宿中の方達と練習試合を行うなど強化を進めてきましが、アジアの壁は厚く打ち崩すことはできませんでした。

ジャカルタでのローンボウルズ競技場が、ホッケー競技場に仮設されたコートであったことは私にとって転がりの抵抗が強くて、体力の劣る高齢者にとっては厳しいものでした。練習時間が僅かであったことも重たいコートに対応するだけの余裕がない試合の出場となり、各国選手と同じ条件とは言え厳しい戦いになりましたし、コート状態の事前把握が出来なかったことは残念でした。

今回私が出場しました障害の軽いクラスB8は体力を十分持った強者揃いであると聞いておりましたし、確かに実力揃いの選手でしたが、国内での勝つための練習強化と体力強化を図ると共に、暑さにも強い持久力を身に付けることで、対等に戦うことが出来ると思うし、勝つことも難しいことではないと確信しております。国内でのローンボウルズ人口が増加しますと共に、コートが各地に設置されて強化が図られれば幸いです。

最後に大会期間中インドネシアの若い多くのボランティアがご尽力下さいまして感謝の気持ちで一杯でした。特に若者たちは日本に憧れを持っていて、便利なスマホ翻訳で暇さえあれば直ぐに寄って来て話ができましたので日本のアピールを大いに致しました。特に日本人は優しくて親切で生活するにも食生活でも安全であることはもちろん、日本留学で勉強をすること、日本の会社で技術を身に付けること、日本の四季が素晴らしいこと、また2年後の日本オリンピックに選手またはボランティアで来日して下さるよう話すことができました。若いみなさんが真剣になって聞いて下さいましたことは良かったと思います。皆さんありがとう！！

**選手　　植松博至**

試合日程に戸惑いがありました。10月3日に日本を出発、現地到着10月4日未明、少しの仮眠をとり午後から試合場を確認しに行きました。5日にはクラス分けがありました。

実際のコートでの練習は、5日と6日の二日間で国別に割り振られ日本チームへの割り当て時間は、

6日の開会式当日の午後2時～4時までの2時間でした。その為に開会式には間に合わない理由で参加できなかったこと、残念でした。

これらの練習の日程等時間調整は参加選手の多さで割り当てられたものと推測できます。日本はシングル戦の3名のみではやむを得ないことではあると思います。

結果的に、4日から8日迄試合会場と選手村の往復で他国の選手の試合を見るのが日課でした。

結果として6日の2時間のみの練習で、試合レーン毎の癖等を確認する事になりました。

ホッケー場に設営されたコートであり又、初めて経験するコートでボールの転がり速さ癖等に不安があった状況での試合でありました。

また環境面では暑さについては、7月にシンガポールでのマーライオンカップの大会に出場し経験したのである程度の覚悟はして挑みましたが、プラス湿気が高く汗かきの私には堪えがたいものでした。

試合は9日・10日の二日間でした。第一日目は第1試合目が朝8時からの試合で30分前にはコートいる必要がありましたので、逆算して選手村を5時30分に出発しなければならない状況でした。

第2試合目は13時～15時、第3試合目は17時30分から19時30分、と今までに経験したことが無かった強行軍でありました。選手村に帰ったのが22時を過ぎており、腕、足が攣った状態になり少し慌てたが翌日も同時刻の出発予定があり食事もほどほどに就寝という状況でした。

これも初めての経験でしたが、現地では、一日4回の礼拝があり、その時間になれば3分間の休止、試合途中でも試合はストップしての祈りがありました。

以上が結果報告と感想ですが、日程的には余裕があったように思えますが実際には2日間の試合と強行日程でありました。しかし、色々と良い経験をさせていただきました。

今後もローンボウルズは続けてメジャーなスポーツになる様に考えていきたいと思っています。